

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 53

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43851

佐藤 了 公談 (限三十九 十一 十)

佐藤了

秘 録

大臣	アメリカ局長
事務次官	参事官
審議官	北米課長
官房長	
官房総務参事官	

大臣秘書官

沖縄ワトソン高等弁務官の
佐藤総理表敬の件

39.12.11
米, 北

沖縄駐在ワトソン高等弁務官の佐藤総理
に表敬する表敬は、12月14日(月曜)

午前11時より30分間を予定せられた
が、都合により同日午後12時30分

より1時20分^(変更)に改定された。

なお、同表敬の席には橋本官房長

官、^{白井}野田総務長官も同席する予定
である。

極 秘
まき

アメリカ局長
参事官
北米課長

佐藤総理、ワトソン高等弁務官

会談における総理発言案

表敬の挨拶
まき

昭和39.12.12
アメリカ局北米課

1. 本日はお会い出来て嬉しい。

私が非常によろこばしく感じていることは、
貴弁務官が着任後、住民の要望を十分検討

(裁判所の一部移譲、苗文化の保存等)

され、またその要望を容れたいくつかの措置を
とられたことにより、沖縄住民の気分が非常に

明るくなってきていることである。住民の協力を
を得ることは、来島の施政にとっても有意義で

あらうし、貴下の明るい施政を今後とも継続
して頂きたいと思う。

2. また沖縄援助に関する援貸委員会および
技術委員会が極めて円滑かつ活発に活動

し、日本の対沖縄援助に関する日米間の協議が、かつてない順調さを進捗していること

（新行）特に米日両国受弁官が出席
周知している。これは第4回協同委員会が開かれ、
← 年毎の日本政府の対沖縄援助の
の額を、日米両国受弁官が協議して決定する
ことである。

3. ~~沖縄問題は現在、日米間の最も重大な
外交条件の一つであるが、日本の内政
ライオン大使も充分了解している通り~~

政治上の問題として、国民感情に関する重要な
ものであるため、慎重に対処していきたい。

4. ~~沖縄基地を必要とする米側の立場
は日本政府としても十分理解している。然し~~

1962年3月の

~~高層の措置として、ケネディ大統領声明にも
その検討が約束されている琉球政府の自治~~

権の拡大は、貴官等弁務官を充分留意して
おられることを承知しているが、この上とも、

この促進方について配慮ありたい。

5. また日本政府としては沖縄住民が生活
面で本土の国民と同じ程度に生活を享受し

よう援助を与え、沖縄の経済、福祉水
準の向上をはかる必要があると思っている。

日本本土と沖縄との経済的社会的格差の解消は、作
貴官においても民生向上について格段の
配慮を願いたい。

6. ~~私は来年月ソコトを訪れ、
この機会に米統領委員会談話の機会を設け、~~

~~この際、沖縄問題について十分意見を交
換し、米側の考えを説明する所存がある。~~

日本政府としては

7. 今後とも、貴高等弁務官をはじめ、沖縄に
おける米側施政当局者との連絡を密接に

して行きたい。

声明は証
あられ
している
と云ふ
もあり

フクシマ 高等采務官略歴

○ 1909年 出生

○ 第2次大戦中レ行、沖縄作戦 従事

○ 昭和20年~22年 陸軍司令部参謀として
東京に勤。

○ 戦後、^{韓国}第10軍団 砲兵隊司令、^{ベルリン}在任
米軍司令部、米陸軍第3軍団司令部等に在任。

○ 昭和34年8月1日 琉球米政改訂高等采務官就任
(7月30日 釜山の途上 池田総理と会談)

極秘
ま

ワトソン高等弁務官来
訪の際における總理発言

昭和39/2/2
アメリカ局北米課

1. 本日はお会いできてうれし。

私が非常によろこばしく感じていることは、
貴弁務官が着任後、住民の要望を十分検討さ
れ、またその要望を容れたいいくつかの措置
(裁判権の一部移譲、旧文化した布令の廃止
等)をとられたことによつて、沖縄住民の気
分が非常に明るくなつてきていることである。
住民の協力をうることは、米国の施政によつ
ても有益であるし、貴官の明るい施政を
今後とも継続していただきたいと思う。

2. また、沖縄援助に関する諮議委員会及び技
術委員会がきわめて円滑、かつ、活潑に活動
し、日本の対沖縄援助に関する日米間の協議
が、かつてない順調さで進捗していると聞い

(17と)

で喜んでいる。

特に、本日午後貴弁務官も出席されて第4
回諮議委員会が開かれ、来年度の日本政府か
らの沖縄援助予算が、日本側提案どまりの額
で合意されることと、大いに喜んでいる。

3. ラインワー大使も十分御承知のとおり、
沖縄問題は、日本の国内政治上の問題として、
国民感情に関する重要なものであるので、慎重
に対処して行きたい。

4. 1962年3月のケネディー大統領演説に
も、その検討が約束されている琉球政府の自
治権の拡大は、貴高等弁務官も十分留意して
おられることを承知しているが、このことも、
その促進方について配慮ありたい。

5. また日本政府としては、沖縄住民が生活面
で、本土の国民と同じ程度の生活を享受しう
るよう援助を与え、沖縄の経済、福祉水準の

向上をはかる必要があると思つている。

日本本土と沖縄との経済的、社会的格差の解消は、ケネディ一声明に謳われているところでもあり、貴官においても、民生向上について格段の御配慮を願いたい。

△ 今後とも、日本政府としては、貴高等弁務官をはじめ、沖縄における米側施政当局者との連絡を密接にして行きたい。

ワトソン高等弁務官略歴

1909年 出生

第2次大戦中レイテ、沖縄作戦従軍

昭和20～22年 極東軍司令部参謀として東京在勤

その後在韓国第10軍団砲兵隊司令、在ペルリン米軍司令官、米陸軍第3軍団司令官等を歴任。

昭和34年 8月1日 琉球米民政府高等弁務官就任

(7月30日赴任の途上池田総理と会談)

極秘

要字 部

発信係 山本 総第 (41431) 号

昭和 39 年 12 月 11 日 20 時 55 分

電信課長

漢

電信案 (分類)

第 2164 号 至急

暗 略 平

大 臣 3 派
政務次官
事務次官
外務審議官
官 房 長
官房総務参事官

主管 アメリカ局長
参事官
主任 无米課長

起案 昭和39年12月11日

起案者 松村 電話番号 443

情報文化局長

報道課長

在 米 武 内 臨時代理 大 公 使 宛 推 名 大臣 発 総 領 事

電 報 在 大 公 使 宛 総 領 事

件 名 総 理 と ワ ト ソ ン 高 等 弁 務 官 と の 会 談

11 日 付 朝 日 の 朝 刊 は、14 日 に 予 定 さ れ て
い る 総 理 と ワ ト ソ ン 神 縄 高 等 弁 務 官 と の 会 談
に 関 し、要 旨 別 電 の ~~記 事~~ 記 事 を ~~ト ッ プ~~ ト ッ プ に 掲
げ、読 売 も 同 様 の 趣 旨 を 報 道 し て い る が、

GB-1 外務省 回覧番号 563

11 102 済

この会談の目的は閣内ニ此等の報道が
新聞の憶測に出たものであり、正確に
ワトソンの今回の訪日は、もとよりライオン
大使の招待により、^{上京}在米大使館との打合せ
も目的の一つであるが、~~この機会に~~
依藤総理に表敬したい旨、在米大使館を
通じ申し入れがあったので、短時間(12時半
より30分程度予定)の会談で表敬を受ける
こととしたものである。
なお、同高等弁務官は、~~本手本~~ ^{たまたま}14日午後
5時より、我が国の年度神縄援助予算案に
ついて合意するたぐい開催される日米協議委
員会にも、~~ゲスト~~ ^{オブザーバー}として出席するに決まっている。
以上、~~貴使にお合点~~
御参考まで

GB-3 外務省

要字 部 発電係 山部 総第 41426 号
昭和 39 年 12 月 11 日 20 時 04 分

電信課長 (印) 電信案 (分類)

略 漢 第 2165 号 (LTF) 漢 至 至
大 臣 主管 アメリ刀局長 起案 昭和 39 年 (2 月) 11 日
政 務 次 官 参 事 主任 北 米 課 長
事 務 次 官 起案者 443
外 務 審 議 官 官 房 長

報 正 課 長

在 未 武 内 臨時代理 大 公 使 宛 推 名 大 臣 発
総 領 事

電 報 在 大 公 使 宛 総 領 事

件 名 佐 藤 ・ ワ ト ソ ン 会 談 (新 聞 報 道)

11 103

写 済

11 日 付 朝 日 朝 刊 は 1 面 ト ッ プ に 「 14 日 佐
藤 ワ ト ソ ン 会 談 沖 縄 訪 米 前 に 調 整 自 治 権
拓 大 者 中 心 に 」 と の 見 出 し の 下 に 佐 藤 ワ
ト ソ ン 会 談 の 主 要 旨 次 の と お り 報 じ て い る 。

GB-1 外務省 回覧番号 562

「ワトソン高参弁論官は佐藤ジョンソン会
談の満了後14日佐藤首相と会談する。
沖縄問題に佐藤ジョンソン会談の重要評題
としてあり、首相は本問題に積極的姿
勢を示している。ワトソンは首相の基本的
見解をジョンソン大統領に伝え、一方首相は
自治権拡大を中心とする日本側の意向を伝え
るとともに米側の考え方を自らジョンソン
と会談の臨む態度を固める意向にある。
首相は政府担当次長沖縄問題の執意を
表明し、自治権拡大に対する積極
的姿勢はワトソン就任後米側が柔軟
な態度を示していることも、一層高
めるが、首相は日本側の機運をワトソン
に伝えることとみられ、米側がこれにどの
外務省

GB-3 外務省

より及后と示すか本問題の今後のこと

重要な鍵となる。日本側はジョージン

政権の政策は少なくとも前政権より

後退するとはなるとみられる。佐藤ジョー

ン合談は本問題に何かの進展がある

か否かは佐藤ジョー合談による。本府

ではとるべき期待しているか。首脳合談

の転換の自派権拡大の盛り込みは日

(本府今回の佐藤ジョー合談による本府とるべき期待している)

米国の新合意ができることを期待している

新聞読者は同報の記事を掲げている

ほか毎日も前年の本合談を報じている。

合紙紙 file face

極秘

大臣秘書官 坂
 事務次官
 外務審議官
 官房長
 官房総務参事官

マツカ局長
 参事
 名米課
 上村副官

在藤 総理 マツカ 神尾 東野 井上 官舎 辻 軍令

(昭 39 12 14)
 マツカ局長 北米課

訪日中のマツカ 琉球其果年上官は 14日 12時 30分
 マツカの大連の案内で 総理官邸 に 在藤 総理

を 表敬 約 40分 に 上り 会談 した。
 マツカ 官舎 在藤 官邸 へ 入り した。

(陪席者: 田井 総務長官 橋本 官舎長官 東野 参事官 有馬 参事官 (通訳)
 マツカ 参事官 神尾 参事官)

総理の 同会 村 野 官舎 辻 官舎 会談 は
 約 5分 ほど 開始 した。

GA-5

外務省

総理: 田井 長官 は 大連 師範 校 の 様子 について
 マツカ 局長 自命 の 万 以上 手 下 あり した。

今後 在 親 し こと あり した。
 日本 には 「官 舎 長 官 参 事 官」
 といふ こと あり した。 自命 参事官 の 職務 について
 知 趣 入 入 参 事 官 参 事 官 参 事 官 参 事 官

在藤 参事官 参事官 参事官 参事官 参事官
 参事官 参事官 参事官 参事官 参事官

マツカ: 英語 に 同 様 の 表現 あり した。 マツカ 局長
 マツカ 局長 参事官 参事官 参事官 参事官 参事官

総理: マツカ 局長 参事官 参事官 参事官 参事官
 マツカ 局長 参事官 参事官 参事官 参事官 参事官

自命 参事官 参事官 参事官 参事官 参事官
 マツカ 局長 参事官 参事官 参事官 参事官 参事官

GA-6

外務省

復雜な事柄の御苦労多しと承知。
令般私心 諸半等事は、ある 目的の為に

新聞の各種、憶測記事、輩に於て、其中は日
沖繩問題乃至王土の領土問題に於ては、
遺憾

11月20日、22日一言申上り、私自身
之は、時間、2003 種々問題、2003
今日日

大統領に話すつもり。
私、沖繩は、日中、極東、安全、直接、保障

12月20日、日米安全保障条約の基礎に、日中、
防衛政策、2003、沖繩、軍事、基地

12の重要性を認識、2003、極東、大印、
あり、2003、

沖繩問題の解決は、2003、極東、大印、
努力、2003、沖繩、島民

軍事基地の再検討と理解する、2003、極東、大印、
あり、2003、

又沖繩問題の解決は、2003、極東、大印、
あり、2003、

2003年11月20日、2003、極東、大印、
あり、2003、

自分には、2003、極東、大印、
あり、2003、

今日、2003、極東、大印、
あり、2003、

政府の、2003、極東、大印、
あり、2003、

2003年11月20日、2003、極東、大印、
あり、2003、

又問題は、2003、極東、大印、
あり、2003、

と即ち加重する。日東政府の従来行方を以て援助努力は

以て充分なものである。日東の経済援助計画の進行は、協議委員会を通じて

後日消化し、今回は日東側提案の米側と合意する。これは日東側から見て、

以上の世界首脳陣の赴任後、沖縄問題の明瞭な解決のことが望まれる。

申し及ぶ。以上、

以上、日東側提案の米側と合意する。これは日東側から見て、

自分の任期中、可能ならば世界首脳陣の赴任を希望する。これは日東側から見て、

私の職務に赴任して、

私個人、新聞記者の立場から、この中、日本の経済復興の私的責任は、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、自分自身、

又行-ト心から共鳴して、自らの承知に限り、理直の米の対流

球政策は、1962年3月以降変更を以て、右の如く理想として、本年10月、

主席運生問題がある。松岡^主は有能な人物で、政権は安定して、その結果、

(i. successful administration) である。

日本の自民党の支持の体面がある。この単に財政的援助を以て、その支持を体面として、

先程総理の口から「自治権拡大」至る公選問題、は、自らの大使に充分連絡し、

右列、又、自らの大使、又、自らの半政府の沖繩に對する立場を承知して、自らの、

中より、御座る、

総理：自命の米同の語に前是非、同神運問題の対流、日米関係、

大使：米の社会、

トノ：琉球問題、

will be a tiny part of your talk.

我々、現在長期的な経済用、

立業中、日米政府、

協漢委員会設置後、日米政府の援助計画、

3、その連絡の、

日本政府の支拂助成は、
 最大多額、最大率補助の運用で、
 支拂終了。
 又各商團の相互に、
 相互間の向上に努力。
 12月22日中に、
 或る場合は、pushして、
 場合、pullする要がある。
 最後一言、砂糖の
 自給は、日本政府は、
 産砂糖買付の決定は、
 毎2日、
 佐井長官、
 1Kg 478.50...

10
 由那漢は、
 最終的は、
 東問題、
 給理、
 27日、
 競争力、
 砂糖、
 砂糖、
 砂糖、
 砂糖、

以上の如く、現に、神樂、地帯等に於ける
 工也、一、日、各、商、の、上、の、自、滿、政、治、的、の、由、
 向、期、に、生、じ、る、可、し、と、考、へ、ら、れ、り、
 總理、府、幕、に、至、り、自、の、所、に、お、か、れ、り、
 心、に、一、つ、つ、と、産、業、に、有、益、に、働、き、出、し、
 外、に、之、の、通、り、と、考、へ、ら、れ、り、
 總理、府、幕、に、至、り、自、の、所、に、お、か、れ、り、
 心、に、一、つ、つ、と、産、業、に、有、益、に、働、き、出、し、
 外、に、之、の、通、り、と、考、へ、ら、れ、り、
 總理、府、幕、に、至、り、自、の、所、に、お、か、れ、り、
 心、に、一、つ、つ、と、産、業、に、有、益、に、働、き、出、し、
 外、に、之、の、通、り、と、考、へ、ら、れ、り、

以上、有利、不、利、を、判断、す、れ、ば、時、を、見、出、
 下、の、案、に、依、り、
 外、に、自、合、由、同、感、に、利、心、の、融、化、を、求、む、
 所、持、の、判断、に、大、胆、に、出、で、
 自、滿、相、意、に、檢、討、す、べ、し、と、考、へ、ら、れ、り、
 總理、府、幕、に、至、り、自、の、所、に、お、か、れ、り、
 心、に、一、つ、つ、と、産、業、に、有、益、に、働、き、出、し、
 外、に、之、の、通、り、と、考、へ、ら、れ、り、
 總理、府、幕、に、至、り、自、の、所、に、お、か、れ、り、
 心、に、一、つ、つ、と、産、業、に、有、益、に、働、き、出、し、
 外、に、之、の、通、り、と、考、へ、ら、れ、り、
 總理、府、幕、に、至、り、自、の、所、に、お、か、れ、り、
 心、に、一、つ、つ、と、産、業、に、有、益、に、働、き、出、し、
 外、に、之、の、通、り、と、考、へ、ら、れ、り、

h

重要性は深く感じられて、
 沖野、軍事的意義は、中期の核戦争以後
 環境が拡大して、沼澤、湖沼、水田、
 下流に流す。
 総理は、
 (飛石は、大隈に類、近頃の国会は、
 命途、自分の通達も、平らぐ。)

極秘

要写部

発電係 総第 41942 号
昭和39年12月15日 23時00分発

電信課長 (M) 電信案 (分類)

略平	第 2196 号	起案 昭和39年12月15日
主任	アメリカ局長	起案者 梅原 電話番号 671
参事官		
主任	米米課長	

在米 武内
 臨時代理 大公使宛 推名 大臣發
 総領事

電報 在 大公使宛 総領事

件名
 佐藤総理ワトソン沖繩高等弁務官会談要旨
 経号 2164 号に因り
 新日経ワトソン沖繩高等弁務官は14日午後
 ワシントン大使、案内、佐藤総理と表敬約40分
 行われ、会談内容は要旨次の通り
 (階席着 岡井総務長官 橋本官長、東野総理)

GB-1 外務省 回覧番号

15

89

写 済

神書官 (ワトソン政治顧問、フランス一等書記官)
 佐藤総理に送る (1)
 1 総理のワトソン高等弁務官赴任後、
 沖繩問題の大方明瞭に成る
 佐藤の意図は、沖繩問題を解決、
 男の意思は、
 今般、総理訪米の目的は、
 各種憶測記事掲載、
 沖繩問題、
 意味、
 今回は、
 大統領と話すのは、
 (2) 総理の「自治権拡大」「主席公選」
 等自身の問題、
 本日、
 日米関係、

GB-3 外務省

新上海漢委自合設置後日米硫磺の運送
容の真実を官に述べたことと述べた後に
砂糖の輸入に日本政府が1kg 480の値段
砂糖の60%買入れの決定は最終の合意
上達したことは南に述べたことと述べたこと
新上海漢委自合設置の理由を述べたこと
解決の得た結果として、農林大臣、大藏大臣
折衝中であることと述べたこと、総理は二枚
1kg 800の値段の採
今回の買入れは唯一の買入れであること
砂糖の輸入に自国の旨を述べたこと
4. 総理の二枚の話しは30と12
最近の自合の自合の総理の沖繩の訪問は
これは自合の7.7である。時林の親戚は
訪問の由いかに述べたことと述べたこと
大連の今朝の自合の買入れは7.7と12と

意見、交際、行政、総理、沖繩方面、政治的
問題、日米双方に有利な折衝
見出し、行政、行政、行政
5. 総理の沖繩の軍事の意義、中共、控隊
以後、日米双方に有利な折衝
見出し、行政、行政、行政